

コラム：セカンドライフ・リフォームのススメ

「長年住んだ家だからこそ、その想いをしっかり実現。」

今回の当社事例でもご紹介しましたが、最近セカンドライフのためのリフォームのご相談をお受けすることが増えてきました。長年住み続けた住まいだからこそ、想いや不満、ご要望は多いものです。子育ても終わり、仕事も一段落。新しいご夫婦のための住まいづくり。そのセカンドライフ・リフォームを上手に実現するにはいくつかのコツがあります。

①一緒に過ごす夫婦の距離感

今までは互いに仕事や子育てで一緒に過ごすことも少なかった二人がセカンドライフでは一緒に過ごす時間が増えてきます。近ければこそぶつかることも増えるもの。暮らしの中ではそれぞれの居場所と距離感を客観的に考えて設けることも大事です。

②安全と健康への配慮

家庭内の事故は実は交通事故以上に多く、高齢になるほどに件数も増します。快適かつ健康に過ごすようにバリアフリーには配慮したいですね。昔の住まいは至るところに段差があり、断熱も不十分で寒かったり。これらはリフォームで十分解決できるので、検討してはいかがでしょうか。

③楽に過ごせる暮らしやすい住まい

メンテナンスに費用がかからず、家事も楽。快適に過ごせて気持ちも軽やか。新しい住まいではより「楽できて暮らしやすい」が重要です。最新設備はより便利で快適になっています。間取りや動線も今一度見なおしてみましょう。

④やりたいことをアクティブに

セカンドライフに欠かせないもの、それはこれまでできなかったことにトライしたり、好きなことを存分にやれるようなアクティブな暮らし。今回の事例紹介のように是非ご自分のアクティブな部分をリフォームに取り入れていただきたいですね。

ゴーイング・グリーンでは素敵なセカンドライフ・リフォームをサポートしたいと思っています。是非お気軽にご相談ください。

4つのポイント

- ①一緒に過ごす夫婦の距離感
- ②安全と健康への配慮
- ③楽に過ごせる暮らしやすい住まい
- ④やりたいことをアクティブに



長年住んだ家を自分らしくリフォームする。



趣味を活かしたセカンドライフ・リフォームを。



リフォーム・ライフスタイルマガジン Vol.04

暮らしのカタチ

WEB サイト : <https://goinggreen-reform.com>

ヨネヤマの長くつきあうエコリフォーム
Going Green
ゴーイング・グリーン

株式会社 米山商事

2017.7 夏号



こんにちは！

私たちがゴーイング・グリーンです。

長くつきあう やさしいエコリフォーム

「ゴーイング・グリーン」とは「地球にやさしくしよう！」を意味する言葉です。

ガス会社の米山商事が、エコの気持ちのこもった言葉を、リフォーム事業部のブランド名にしました。1969年の創業から、これまで培ってきたサービスとノウハウを活かし、お客様の住まいへの想いやお悩みを共有し、快適な暮らしを共に考えていきます。

家は応急処置的な修繕ではなく、個々のお悩みやニーズをよく理解して、長く役に立つリフォームをご提供すること。それがご家族の成長や暮らしを支えると同時に、家そのものが家族の一員として育つことにつながると私たちは信じています。ゴーイング・グリーンは、お客様ひとりひとりの日常的・定期的なコミュニケーションを通じて理解した住まいへのお悩みやニーズに対し、安全・質・エコにこだわったリフォームサービスをご提供いたします。



米山商事社屋



ゴーイング・グリーンのリフォーム現場

お問い合わせ・ご相談・見積はこちらまで。

0120-025-218 9:00~20:00
日・祝 除

E-mail : info@goinggreen-reform.com

〒223-0057 横浜市港北区新羽町 1526 株式会社 米山商事

ヨネヤマの長くつきあうエコリフォーム
Going Green
ゴーイング・グリーン

大人のセカンドライフ・リフォーム

セカンドライフを前に気分も新たに住まいも新しくしたい。大人のこれからのリフォーム。

「暮らしのカタチ」Vol.4 夏号では、最近ご要望も多いセカンドライフを見越したリフォームとそのライフスタイルをご紹介します。



夫婦ふたりのこれからのリフォーム

長く住み続けた住まいだから、ご夫婦のたくさんの想いをしっかり実現。

横浜市A様邸
期間：2.0 カ月
予算：1100 万円
家族：2 人 (夫婦)
リノベーション



1年半経過したリビングダイニングキッチン。座り心地のよいダイニングチェアと優しい丸いテーブル。



ふかふかのリビングソファは奥様の特等席。



寝室には物干しスペースが隣接。

セカンドライフを快適に。一念発起、1階フルリフォーム。

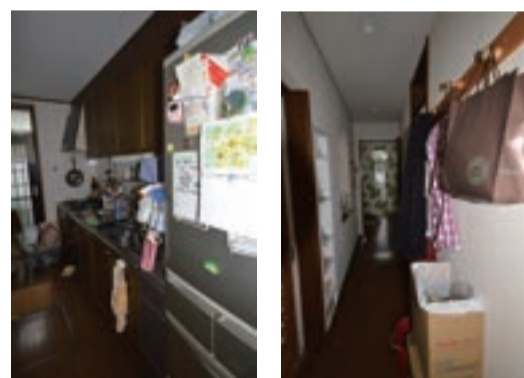
ご依頼いただいたA様は子育ても終わり、これからは二人の暮らしのためにと長年お住まいの戸建住宅のリフォームを検討されていました。最初は和室とLDKを繋げるリフォームをお考えでしたが、検討を進めていく中で、中途半端にリフォームしてもどこかにしわ寄せが来て使いづらいたらうと一念発起。1階を全面的にフルリフォームされることになりました。



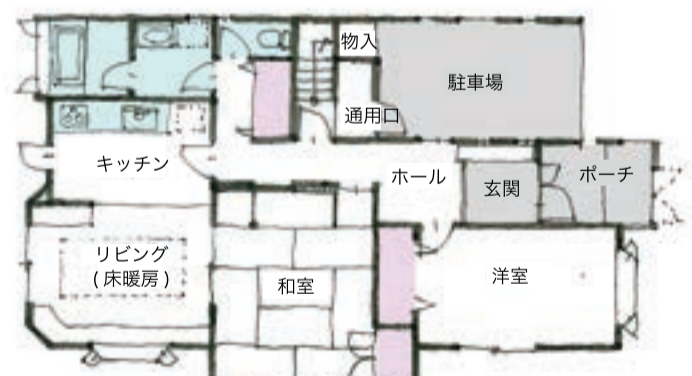
事務室兼趣味室はご主人の秘密基地。仕事と趣味で自分色に染まっています。

長年の暮らしの中で気付いたことや想いを形に。

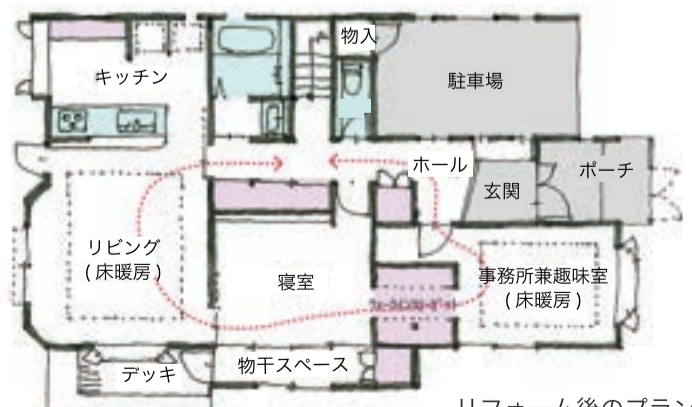
大きなご要望は「対面キッチンにしたい」「バリアフリーにしたい」の2つ。22年の暮らしの中で、「もっとこんな風にしたら住みやすいのに!」という想いやアイデアをたくさんお持ちでそれをプランナーが共に1つ1つ形にしていきました。



リフォーム前は濃いウッド調のインテリア。



リフォーム前のプラン



リフォーム後のプラン

間仕切りを大きく変えずに住み方をガラリと変える。要は動線。

間取りのポイントはLDK、寝室、事務室、水回りを使いやすく配置すること。今回、和室を寝室(洋間)に変え、この部屋を中心に各部屋を経由してぐるりと回遊できる間取りをつくりました。

浴室と洗面室を横に移動して、広い対面キッチンを実現しています。大々的な間取りの変更はしていませんが、ちょっとずつスペースを整理し、動線を変えました。住まい方は劇的に変化しています。

ご主人が籠もれる趣味室兼事務室、奥様が寛ぐリビングがあり、寝室を挟むことで二人の程よい距離感も実現できました。加齢にも配慮して寝室とトイレの近さも動線の中で大きなポイントになりました。

お客様インタビュー ～リフォームから1年半が経過。直接お客様に伺いました。

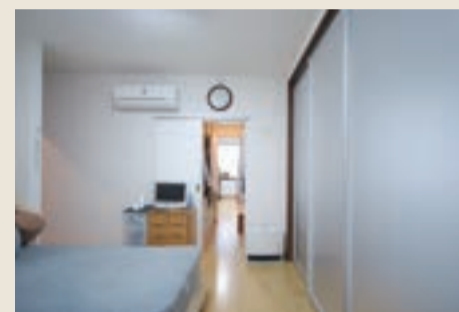


インタビューの様子

Q. リフォームのきっかけは?

※GG: ゴーイング・グリーン の略

奥様: リフォーム前の家は動線が悪く、また一階の真ん中にある和室が無駄になっていました。一番広い部屋なのにほとんど物置になっていてもったいない状態になっていたんです。もともと両親が住んでいて、両親が住みやすいように作ってあったと思うんですけど、私たちには不便だった(苦笑)。でも最終的にリフォームができた理由は、間取りを検討している時に、洋室をお父さんの部屋にしない? って、言ったら急にお父さんが乗って来て。実はそれがリフォームの本当のきっかけだったのかも(笑)。



寝室を中心に各室に行き来できる。

Q. ご依頼の内容。こだわりのポイントは?

GG 植田: バリアフリーにされたい、ということが大きかったと思います。実際にお住まいだったのでご依頼いただいた時には既に具体的なプランができていらっちゃって、それを実現する方法を検討させていただきました。

奥様: 新築時の設計図を何枚もコピーして、自分で検討していました。いろいろやってみると、こっちを良くするとあっちが使いづらくなるよね、とかいろいろ試行錯誤するうちに、トイレとお風呂を動かして、台所をこちらに動かせるのかなと思ったり。こういうリフォームってできるんですかって、相談したりしながら、現在の間取りになってきて、予算内でリフォームできるならやりたいよねって。今回のリフォームの前に、何度も細々とリフォームしてきたのですが、いざやってみるとこちらを良くするとあちらが悪くなったり。なのでやるなら思い切って動かすところをバツと動かさないと、きっとまた何処かで不便さがでてくるのではないかって。一気に全体的にやりたいなって思いました。

ご主人: ウォークイン・クローゼットの作り方はさんざん考えましたよ。

奥様: いろいろ考えたり、試したりしましたが、専門家のアイデアが一番良かったですね。ウォークイン・クローゼットの取り方は植田さんに何回か提案いただきました。



事務室と寝室、どちらからも入れる収納。

Q. 1年半住まれて、住み心地はいかがですか?

ご主人: 完成当時の満足度が95%だとすると今は98%ぐらいかな。本当にやってよかったなと心から思いますね。

奥様: 図面で見えていた動線が実際に良かったのかどうかは、体感してみないとわからないじゃないですか。スペースの問題で洗面所が狭いんじゃないかと思っていたりしたけど、使ってみると狭いとは思わなかったし、洗濯機はキッチンの隣にあるのですが、気軽に洗濯できてよかったです。洗面台は廊下からすぐなので使い勝手がすごくよいなど、住み始めて気づいたことも多かったですね。

ご主人: まあ、本当に動線が全てだったよね。



ダイニングチェアもこだわりのデザインで。

Q. ご主人は基地(趣味室)を手に入れられていかがでしたか?

ご主人: そうですね。本当に理想でしたよね。こちらで仕事やって、振り向くと趣味のことができて、そういうスペースがあって、もうこれでバーカウンターがあれば最高だね(笑)。気持ちよく過ごしてます。



ジオラマはご主人のご趣味の一つ。

A様ありがとうございました。引き続き快適なセカンドライフを満喫くださいませ!



他事例はWEBを御覧ください → <https://goinggreen-reform.com>